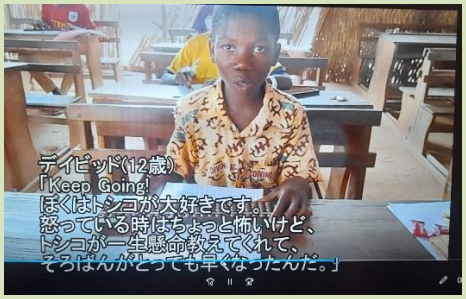
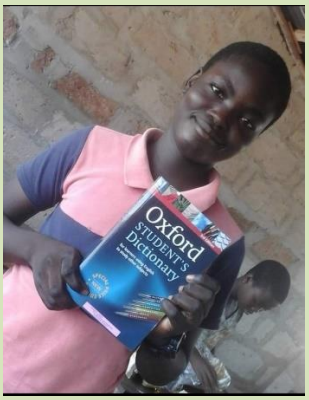
ガーナでそろばんプロジェクト 104 号（2023 年 1 月 30 日）

★★そろばん教室に来ていた子どものあれからとこれから★★

新年度が始まりました。実は去年暮れにわかに 2023 年はコロナ前の9月新年度始まりに戻すために1月始まり8月終了式にするという話しが挙がっていました。校長に確認したところ、8月終わりになることは無いと言ったのでまずはひと安心です。そんな新学期のスタートにうれしいニュースがありました。ギディオンが中学クラス担当の先生として採用されていたのです。校長が嬉しそうにギディオンが採用時に提出した高校卒業認定試験の成績表を見せてくれました。Excellent の A はなかったものの B で埋め尽くされた成績表でした。これが発端となり、過去にそろばん教室に通っていた生徒の話しになりました。少数の乗算除算そして暗算が出来るようになったデイビットもクレナムも今はガーナ第二の都市クマシの大学に通っていると教えてくれました。現在、日曜日のそろばん教室は開室していませんが、開室していた当時、練習プリントが規定数終わると学用品を贈り、検定に合格すると希望する参考書を贈っていました。そろばん教室に自らの意志で通い、練習を頑張り続けた子どもは首都アクラで開催された「よさこい祭り」にも招待しました。よさこいに招待したのは、日本の文化に触れてもらいたいという思いと、村にはない高層ビル群を見てもらいたいという思いからです。そろばん教室の全盛期は多い時で十人近く通っていましたが、コロナ前は三～五人と少なくなってしまいました。全盛期の生徒がデイビット、ギディオン、少なくなってからの生徒がギディオンです。そろばん教室に通っていた生徒だから受けられた学用品や参考書のサポートではあるけれども、基準の成績を納めないと受けられないサポートで、それが教室に通っていた子どもの学びの糧となっていたことは間違いないと思います。それは校長の「トシコが彼らに学ぶことを教えた。」という言葉で確信しました。



右上段中段写真は、2014 年に撮影したもの。下段は教鞭を取るギディオン。左上段中段はよさこい祭りに招待したもの。下段は参考書を手にするギディオン



そろばん教室に通っていた子どもにはこれからも、そろばんを通して身についた学ぶことの大切さ、そして継続すれば力なりを実践してほしいと願うばかりです。

子どもたちの学びのサポートに心より感謝いたします。

協賛　　トモエそろばん様